



サンゴの成長状況報告

昨年、多くの皆さまから寄せられた募金を活用し2019年10月5日に植え付けを行ったサンゴの成長状況についてご報告します。

昨年植え付けた40株のサンゴは順調に成長をしていましたが、2020年9月1日に発生した大型で非常に強い台風10号が沖縄地方を北上しました。沖縄県内各地でも倒木や停電などの被害が報告されました。しかし、この被害は陸上だけではなく、海の中も台風が通過することで海中がかき回され被害をもたらしました。

台風通過後のサンゴ育成場所の状況

台風通過後に残ったサンゴの様子



台風通過後のサンゴの様子がこちらです。昨年、自然の岩に穴をあけ、土台を岩に固定した状態で植え付けた40株のサンゴのうち、3分の2以上が土台から外れていたり、苗が折れていたり、流されてしまっていることが確認できました。残されたサンゴは、現地の状況や生育状況も踏まえ、この場所で引き続き育てていくことになりました。

私たち人間は台風が起きても安全な場所に自主的に避難することができますが、サンゴはその場を動くことができず、ずっと耐え忍んでいます。このような状況を目の当たりにして、改めて今回自然の猛威の恐ろしさを実感しています。ただ、台風はサンゴの生育にとって重要な役割を持っています。高温の続く夏場では、海水温の上昇がサンゴの白化につながりますが、台風の影響により海中がかき回されることで水温を下げられるため、サンゴにとっては必要な自然現象となります。しかし、大型の台風だと今回のような被害がでてしまうため、バランスが難しいところです。そこで、今回のような被害を最小限に抑えるために、新しい植え付け場所を選定し、前回植え付けた40株と同数のサンゴを新しく植え付けました。

新しいサンゴ育成場所の状況

近くの養殖棚の様子



新しく植えたサンゴの様子



新しい植え付け場所は、イノー※と呼ばれる浜に近い浅瀬になります。前回の植え付け場所とは違い、今回は外洋からは離れており、風や波の影響を受けにくいいため発育が成功しやすく、近くに植え付けられたサンゴも順調に発育していることが確認できました。前回の植え付け場所で現在も成長しているサンゴと、新しい植え付け場所でこれから成長していくサンゴをしっかりと見守りたいと思います。

サンゴは海に住む生き物たちのすみかになるだけでなく体外に分泌した粘液が小さな生き物の栄養分となっています。また、海水のCO2濃度を調節することで水中環境を整え、海洋生物全てにとって多くの恵みを与える重要な存在です。しかし近年、地球温暖化やマイクロプラスチック問題、赤土の堆積などに加え今回のような台風被害など、サンゴを取り巻く環境は大きく変化しており、何もしなければあっという間に消失が広がってしまいます。人間の影響によりサンゴが少なくなっているからこそ、我々は地球のため、サンゴのためアクションをしなければならないという気持ちです。そして、サンゴの消失を食い止めるためには多くの人が保全活動に参加することが重要だと改めて強く感じました。

未来とサンゴプロジェクトとしても、より一層サンゴを増やす活動、環境保全活動を継続していきますが、皆さまの力も必要です！サンゴを増やし守る活動に賛同いただける方は、引き続き寄付のご協力をぜひお願い致します。

未来とサンゴプロジェクト公式HP(<https://www.softbank.jp/corp/csr/special/pj-coral/>)

▽募金ページ▽

ソフトバンクの携帯電話をご利用のお客さま【つながる募金】

<https://ent.mb.softbank.jp/apl/charity/sp/select.jsp?corp=519>

それ以外のお客さま【Yahoo!ネット基金】

<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5225001/>

※イノーとは沖縄の方言でサンゴ礁に囲まれた浅い海